

## 大阪

---

### 釣り大会：外来魚駆除、イタセンパラを救え！ - - 来月10日、大阪・旭区 / 大阪

環境省が絶滅危惧(きぐ)種に指定した淡水魚、イタセンパラの主な生息地である淀川左岸河川敷・城北わんど群付近(大阪市旭区)で5月10日、外来魚駆除を目的にした釣り大会が開かれる。

イタセンパラは外来魚による捕食などが原因で急減し、淀川では昨年まで3年連続で稚魚が未確認という。主催する民間団体「琵琶湖を戻す会」(高田昌彦代表)は「待ったなしの緊急事態。1匹でも多く外来魚を駆除しなければ復活はあり得ない」と協力を呼びかけている。

大会は毎年、外来魚の産卵前の5月ごろに開いており、今回が4回目。午前10時～午後3時で、旭区・菅原城北大橋下で参加を受け付ける。参加無料、釣り道具は原則各自で持参のこと。釣った外来魚は胃の内容物や個体の大きさなどのデータ採取のため、府水生生物センター(寝屋川市)が引き取る。問い合わせは高田代表(090・8527・3752)。【武井澄人】